

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
キャリア教育IV (ファッション) Career Education IV		2年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	必修	特になし	
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
なし。				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
なし。				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス	
(主) 松崎勇人、全専任教員(クラス担任)	授業中に指示 します	授業中に指示 します	授業中に指示 します	
授業の概要				
講義の内容は、第1に、就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけること、第2に、自己を生かす職業に就くために必要になる知識や技術や望ましい態度等を学ぶことから成る。				
授業の目標				
①より良い進路実現へ向けて課題を見出し、解決へ向けて努力できるようにする。 ②職業に関わる価値観や役割や責任を理解し、就業に向け心構えを作れるようにする。 ③自分がどのような職業に興味があり、向いているのかを具体的に考えられるようにする。 ④相手の伝えたいことを察し、相手を気づかいながら自分の思いを伝えられるようにする。 ⑤就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけることができるようにする。				
授業の方法				
基本的に講義形式で行うが、各クラスで個別ワークやグループワークも取り入れる。グループワークでは先生や仲間と積極的に関わるようにし、課題についてはキャリア形成や職場での問題解決のために必要なことなので、自己を振り返る機会を持ち、気付いたことを文章で表現するよう心掛けるようにして欲しい。さらに、クラス担任による進路面談等を行い学生の職業に関わっての自己実現を支援する。				
学習の成果(学習成果)				
①自分の職業生活を設計できる。 ②職業生活に関わる大切なことを認識し実践できる。 ③自己の職業への適性を知り、能力を高めることができる。 ④他者より良くコミュニケーションできる。 ⑤職場環境に適応し、そこでの問題を解決するための活路が見出せる。 以上により、就職活動をして進路を実現し、職場での基本的な問題の解決ができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	オリエンテーション。シラバスと評価の仕方について(松崎) (60分)。フィールド別オリエンテーション、履修指導 9/25			
第2回目	(90分)。フィールド別ガイダンス＝ 時事問題レポート作成 10/2			
第3回目	時間の管理と手帳活用術。(大室) (45分)。グループディスカッション、進路活動報告書提出 10/9			
第4回目	職場でのコミュニケーションの取り方、人とのつきあい方 2。(秋山) (45分)。「職場でのコミュニケーションの取り方……」の要点をまとめて提出。 課題1 10/17			
第5回目	金銭の管理。(國分) (45分)。「金銭の管理」の講義の要点をまとめて提出。 課題2 10/24			
第6回目	就職活動中の者：就職指導(学生支援委員会・学生支援課) (45分)。就職内定者：就職活動について報告書作成 10/30			

第7回目	租税について(外部講師) (45分)。「租税」受講内容の要約。 課題 3 11/6		
第8回目	(90分)。フィールド別ガイダンス：SGCファッションショーに向けての連絡事項。 11/13		
第9回目	(90分)。フィールド別ガイダンス：「社会人としての心得」SGCファッションショーの確認事項。 11/20		
第10回目	健康管理と余暇の過ごし方1(徳積) (45分)。進路個別面談、進路活動報告、健康管理と余暇の過ごし方1のまとめ 11/27		
第11回目	健康管理と余暇の過ごし方2(徳積) (45分)。進路個別面談、進路活動報告、「健康管理と余暇の過ごし方2」のまとめ 課題4 12/4		
第12回目	労働者の生活を守る制度、労働基準法や各種保険(山田) (45分)。「労働者の生活を守る制度、労働基準法や各種保険」の講義内容をまとめてレポート提出 課題 5 12/11		
第13回目	自己啓発(國分) (45分)。「自己啓発」の講義の感想をグループディスカッション後、要点をまとめて提出 課題6 12/18		
第14回目	(90分)。フィールド別ガイダンス：社会人としての心構えと準備について再考。 個別指導 1/15		
第15回目	まとめ(松崎) (45分)。ファッション：ワークライフバランスについて。キャリア教育1～IVで学んだことについてまとめる。自己評価。課題7 1/22		
成績評価の方法と基準			
	評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度		30%	最高水準としては、講義者の話を集中して聞き、質問に主体的に答えられること、与えられたテーマについて仲間の意見を聞き、自分の考えを述べられるなどである。
レポート		70%	フィールド独自の課題(70点分)を提出すること。〆切や詳細についてはクラス指導の場で伝達する。
調査報告書			
小テスト			
試験			
発表内容(態度含む)			
その他			
教科書と参考図書			
『就職活動ガイドブック』(非売品のため購入する必要はない。) 『大学生のためのキャリアガイドブック』。参考書は講義中に適宜指示する。			
履修上の留意点・ルール			
積極的に参加し、進路の実現へ向け行動し反省し修正すること。マナーを守り、自分で考え、フィールド毎の課題を必ず提出すること。欠席した場合は学生支援課で共通の講義資料を受け取る。各回のカッコの中の時間は、フィールド別の指導時間を意味する。			